



チョウとガは、どちらがうの

チョウとガは同じ仲間

チョウとガは、^{すがた}姿や^{かたち}形や^{せいかつ}生活が、よく^に似ています。ちがいを^み見つけるのが、むずかしいぐらいです。じつは、^{ちゅう}こん虫を、^{おお}セミ、^{なかま}トンボ、^{おお}バッタなどと大きな仲間分けでみると、チョウとガは同じ仲間です。でも、トンボの仲間を、ヤンマ、トンボ、カワトンボ、イトトンボというように^{こま}細かく^わ分けるような仲間分けでは、チョウとガは、ちがう仲間に分けられません。

チョウとガを性質で分けると

^{しよつかく}触角の^{かたち}形や、^{ひるかつどう}昼活動するか^{よるかつどう}夜活動するかなどに、チョウの仲間や、ガの仲間が多い^{なかま}特長^{なかま}はあります。でも、その^{とくちょう}特長と^あ合わないガやチョウもいて、一つの^{とくちょう}特長^{くべつ}だけでは、^{おお}区別^{ひかり}できないことが多いものです。ガは、^{あつ}光に^{しゅうせい}集まる^{よる}習性^あがあり、^と夜、^あ明かりを^とめがけて^と飛んできます。チョウは、^{ひるまかつどう}昼間活動するものが多く、ガは、^{おお}夕方から^{ゆうがた}夜間に^{やかん}活動するものが多く(オオスカシバのように、^{ひるかつどう}昼活動するガもいる)といえます。

形や育ち方で分けると

ガの^{しよつかく}触角は、^{ふと}太くて^{うもう}羽毛のようだったり、^{おお}ぎざぎざがあつたりするものが多いが、チョウのは、^{ほそ}細く、^{さき}すうっとのびていて、^{まる}先が丸くなつたり、かぎのようにとがつたりしている。(イカリモンガのように、チョウに似た^{しよつかく}触角のガもいる)。
とまるとき、チョウは^{はね}羽を^と閉じるものが多いが、ガは^{さんかく}三角に^{はね}羽を^{ひろ}広げてとまることが多い。(チョウのダイミョウセセリは、^{はね}羽を^{ひら}開いてとまる)。
ガは、^{つく}さなぎになるとき、^{おお}まゆを作るものが多いが、チョウは^{つく}作らない。

(監修・中山 周平)

